

SQTS

② 心電図の特徴

- ① ST部分がみられず、QRSからTに直接移行する。
(J点～Tpeak間隔が短縮する。)
- ② T波は高く尖って幅が狭く、左右対称形を示す。
- ③ Tpeak～Tend間隔に延長がみられる。
- ④ 下壁誘導ⅡⅢaV_Fや後壁誘導V5～6でスラー型またはノッチ型J波増高を認めることがある。(J波症候群)
- ⑤ ブルガダ症候群のコーブド型ST上昇を合併するSQTSの報告例あり。